

---

# 宮崎県埋蔵文化財センター年報

---

第10号

平成18  
(2006)  
年度

2006

## 序

本書は宮崎県埋蔵文化財センターの概要と平成17年度に実施した諸事業についてまとめたものです。

当センターでは国・県・西日本高速道路(株)等の実施する各種開発事業に伴う発掘調査を行うとともに出土品等発掘文化財の整理、収蔵、公開をすすめ、明らかになった郷土の歴史に関する報告会等によって県民の皆様の郷土に対する理解に役立てるなど埋蔵文化財の保護と活用に積極的に取り組んでいるところであります。

発掘調査では、東九州自動車道建設に伴う調査については都農～西都間で20遺跡を、門川～日向間で7遺跡を実施し、また、北方延岡道路、都城道路関係では2遺跡を実施いたしました。

主な発掘調査については現地説明会や調査報告会を随時開催し、今後とも県民の皆様に郷土の歴史にじかに触れていただく機会をできるだけ多く持ちたいと考えております。

埋蔵文化財行政の十分な成果が得られるように今後ともより一層の努力をしまいにたいと存じます。

関係各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

平成18年5月

宮崎県埋蔵文化財センター  
所長 清 野 勉

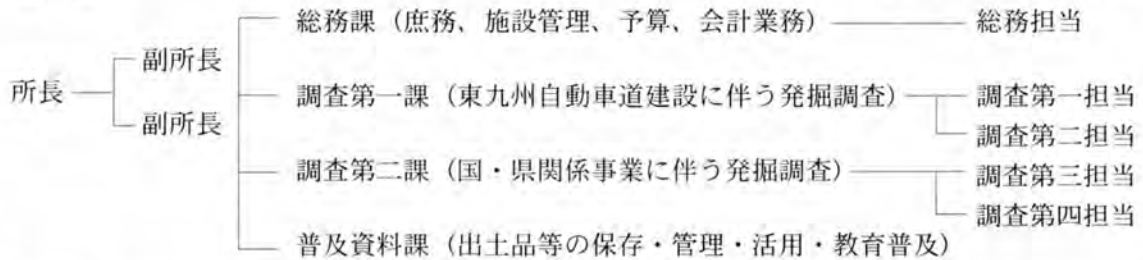
# 目 次

I	組織・施設	1
II	埋蔵文化財センターの沿革	3
III	平成17年度の活動状況	4
	1 埋蔵文化財緊急調査	4
	(1) 発掘調査	4
	(2) 発掘調査に伴う調査指導及び職員の資料調査	8
	(3) 出土遺物等整理及び発掘調査報告書の刊行	10
	(4) 保存処理	12
	(5) 収蔵整理	13
	2 教育普及活動	13
	(1) 展 示	13
	(2) 埋蔵文化財講座「遺跡をたずねて」	14
	(3) 施設公開「わくわく埋文探検」	15
	(4) 埋蔵文化財専門職員研修会	16
	(5) 現地説明会及び結果報告会	16
	(6) 広報出版物	17
	(7) 資料等の提供	20
	(8) 見学・研修・体験学習等の受入れ	22
	(9) 会議・職員研修	23
	(10) 職員派遣	24
	(11) 労働安全衛生関係の講習等への参加	24
	(12) デジタルミュージアム事業	25
	埋蔵文化財センター管理規則	26

# I 組織・施設

組織

(平成18年5月8日現在)



所長	清野 勉	(高速道対策局・併) 主事 大野 義人	(高速道対策局・併) 主事 岡田 論
副所長	加藤 悟郎	(高速道対策局・併) 主事 森本 征明	(高速道対策局・併) 主事 福田 聡
副所長	岩永 哲夫	(高速道対策局・併) 主事 堀口 悟史	(高速道対策局・併) 主事 井上 美奈子
総務課		(高速道対策局・併) 主事 岸田 裕一	(高速道対策局・併) 主事 瀧ノ上 隆介
課長	宮越 尊	(高速道対策局・併) 主事 佐竹 智光	(高速道対策局・併) 主事 日高 優子
総務担当リーダー		(嘱託)	(嘱託)
主幹	高山 正信	調査員 金丸 琴路	調査員 石津 晴菜
主査	甲斐 和也	調査員 福田 光宏	調査第二課
主事	遠目塚 尚子	調査員 田中 達也	(兼)課長 岩永 哲夫
(高速道路対策局・併)		調査員 小船井 順幹	調査第三担当リーダー
主任主事	上村 和枝	調査員 児玉 幹	主幹 谷口 武範
調査第一課		調査第二担当リーダー	主査 福田 泰典
課長	高山 富雄	主幹 菅付 和樹	主査 谷口 千尋
調査第一担当リーダー		主査 白地 浩博	主任主事 甲斐 貴充
主幹	長津 宗重	主任主事 堀田 孝博	主事 丹 俊詞
主査	山田 洋一郎	(高速道対策局・併)	主事 柳田 裕三
主事	松本 茂	主査 安藤 利光	調査第四担当リーダー
(高速道対策局・併)		(高速道対策局・併)	主幹 近藤 協
主査	出山 真次	主査 清藤 荘八	主査 橋本 憲二
(高速道対策局・併)		(高速道対策局・併)	主査 黒木 俊彦
主査	小川 太志	主査 島木 良浩	主査 平山 十四郎
(高速道対策局・併)		(高速道対策局・併)	主査 橋本 英俊
主査	竹田 享志	主査 日高 博司	主査 日高 広人
(高速道対策局・併)		(高速道対策局・併)	(嘱託)
主査	安藤 正純	主査 土屋 雄毅	調査員 古屋 美樹
(高速道対策局・併)		(高速道対策局・併)	普及資料課
主査	小山 博	主査 向江 修一	課長 楠田 義光
(高速道対策局・併)		(高速道対策局・併)	主査 赤崎 広志
主任主事	高橋 浩子	主査 結城 修	専門員 津隈 久美子
(高速道対策局・併)		(高速道対策局・併)	
主任主事	興梠 慶一	主査 田中 敏雄	
(高速道対策局・併)		(高速道対策局・併)	
主任主事	藤木 聡	主査 松林 豊樹	
(高速道対策局・併)		(高速道対策局・併)	
主事	松元 一浩	主事 今塩屋 毅行	
(高速道対策局・併)		(高速道対策局・併)	
主事	重留 康宏	主事 嶋田 史子	
(高速道対策局・併)		(高速道対策局・併)	
主事	立神 勇志	主事 三品 典生	
(高速道対策局・併)			
主事	渡辺 美幸		

## 施設

(佐土原本館) 宮崎市佐土原町下那珂4019

### ① 本館 (鉄筋コンクリート造一部木造平屋建)

事務室	57.76m <sup>2</sup>
所長室	19.86m <sup>2</sup>
情報処理室	33.17m <sup>2</sup>
会議室	78.52m <sup>2</sup>
休憩室	78.52m <sup>2</sup>
調査研究室	248.55m <sup>2</sup>
復元整理室	293.44m <sup>2</sup>
一次処理室	96.81m <sup>2</sup>
図面整理室	61.62m <sup>2</sup>
写場	64.20m <sup>2</sup>
暗室	12.65m <sup>2</sup>
一次保管室 (2層)	188.00m <sup>2</sup>
図書室 (2層)	193.88m <sup>2</sup>
荷捌室	43.01m <sup>2</sup>
その他	276.00m <sup>2</sup>

小計 1,745.99m<sup>2</sup>

### ② 附属建物 (鉄骨造)

整理作業棟	216.76m <sup>2</sup>
-------	----------------------

### ③ 附属建物 (鉄骨造)

収蔵庫棟	693.75m <sup>2</sup>
------	----------------------

①+②+③ 合計 2,656.50m<sup>2</sup>

リース建物

### ④ 調査研究室 (鉄骨造)

職員室	247.06m <sup>2</sup>
更衣室	54.51m <sup>2</sup>

小計 301.57m<sup>2</sup>

### ⑤ 東九州道棟 (鉄骨造)

整理作業室	453.61m <sup>2</sup>
-------	----------------------

小計 453.61m<sup>2</sup>

④+⑤ 合計 755.18m<sup>2</sup>

本館合計 3,411.68m<sup>2</sup>

(神宮分館) 宮崎市神宮2丁目4-4

### ① 分館 (鉄筋コンクリート造2階建) 1,652.38m<sup>2</sup>

1階	877.58m <sup>2</sup>
一次処理室	121.20m <sup>2</sup>
復元整理室	148.30m <sup>2</sup>
保存処理室	49.30m <sup>2</sup>
(木器)	26.60m <sup>2</sup> )
(鉄器)	22.70m <sup>2</sup> )
研修室	143.20m <sup>2</sup>
事務室	41.80m <sup>2</sup>
展示室	150.00m <sup>2</sup>
器材庫	11.00m <sup>2</sup>
エントランスホール他	212.78m <sup>2</sup>

2階	774.80m <sup>2</sup>
写場・暗室	49.30m <sup>2</sup>
写真保管室	35.10m <sup>2</sup>
図面保管室	53.10m <sup>2</sup>
収蔵整理室	19.30m <sup>2</sup>
収蔵室	564.00m <sup>2</sup>
特別収蔵室	54.00m <sup>2</sup>

## Ⅱ 埋蔵文化財センターの沿革

西暦	年月日	事項
1980 1981 1982	昭和55 56 57. 1. 9 7. 29 10. 2	「埋蔵文化財調査センター建設計画」立案 基本設計を実施 起工式 竣工 宮崎県総合博物館埋蔵文化財センターとして宮崎市神宮2丁目4-4に設置。 センター長吉田敏明（兼博物館副館長）以下本務職員2名（岩永哲夫、谷口武範）、兼務職員8名、嘱託2名発令。出土品等の整理保管と教育普及活動を行う。 開館記念講演「日本文化のふるさとをたずねて、東南アジアの旅から」（講師：国立民族学博物館教授佐々木高明）。
1983	58. 4. 1	センター長細川達雄発令。本務職員を3名（茂山護、岩永哲夫、谷口武範）に増員する。
1984	59. 4. 1	（茂山転出、菅付和樹転入）
1985	60. 11. 2	文化財保護強調週間の行事として施設公開を初めて行う。
1986	61. 4. 1 61. 7	センター長久徳菊雄発令。兼務職員7名になる。 毎月第4土曜日の映写会「遺跡をたずねて」を始める。
1987	62. 3 62. 4	埋蔵文化財調査研究報告第1集「陣内第2遺跡、蓮ヶ池横穴墓群－遺物編」刊行。 埋蔵文化財講座を始める。
1988	63. 3 63. 4. 1	埋蔵文化財調査研究報告第2集「下那珂貝塚」刊行。 センター長長友巖発令。本務職員1名（菅付和樹）、兼務職員9名となる。
1989	平成1. 4. 1	センター長石井祥博発令。本務職員1名（永友良典）、兼務職員11名となる。
1990	2. 3 4. 1	埋蔵文化財調査研究報告第3集「下北方古墳－遺物編」刊行。 兼務職員が13名となる。
1991	3. 3 4. 1	埋蔵文化財調査研究報告第4集「下弓田遺跡－資料編1」刊行。 センター長木幡文夫発令。 設備充実の一環として、軟X線撮影装置等を導入する。
1992	4. 4. 1	センター長藤崎景二発令。 埋蔵文化財センター開設10周年記念企画展「宮崎の埋文情報展'82-'91」を開催する。 脱塩装置・赤外線TVカメラシステム等を導入する。
1993	5. 4. 1 9. 15	センター長後藤健志発令。本務職員1名（長津宗重）、兼務職員15名となる。 空調設備増設。
1994	6. 3. 8	特別収蔵庫設置
1995	7. 1. 29 2. 16 4. 1	一般収蔵庫増設工事完成。 屋根防水工事完了。 センター長関屋清志発令。本務職員1名（長津宗重）、兼務職員24名となる。 県文化課埋蔵文化財第二係（調査部門）を埋蔵文化財センターに置く。
1996	8. 4. 1	宮崎県埋蔵文化財センターとして総合博物館から分離独立し、庶務係、調査第一係、第二係、教育普及係（第二係兼務）を置く。 所長藤本健一以下職員37名、嘱託1名発令。 鶴島分室（旧婦人相談所：宮崎市鶴島2丁目11-25）を設置し、調査第一係（東九州自動車道担当）を置く。
1997	9. 3. 17	分室を国富（旧国富農業改良普及センター：国富町大字本庄4777-2）に移転する。
1998	10. 4. 1	所長田中守発令。職員39名、嘱託8名になる。
2000	12. 1. 20 4. 1 9. 30	佐土原町に新館が完成し、国富分室を統合廃止する。神宮の旧本館を分館とする。 所長矢野剛発令。課制となり、総務課、調査第一課、調査第二課、普及資料課を置く。職員52名、非常勤職員12名となる。 分館（研修室、事務室、図面保管室、写真保管室）改築工事完成
2001	13. 4. 1 7. 1	職員59名、非常勤職員16名となる。 調査研究室設置
2002	14. 4. 1	所長米良弘康発令。職員63名、非常勤職員17名となる。
2003	15. 4. 1	職員64名、非常勤職員15名となる。
2004	16. 4. 1	所長宮園淳一発令。職員62名（うち任期付き職員13名採用）、非常勤職員12名となる。 収蔵庫用に旧歯検定工場を農政企画課から所管換え。
2005	17. 3. 8 4. 1 11. 16	収蔵第一期工事完成。 職員61名（うち任期付き職員7名採用）、非常勤職員9名となる。 調査一課整理棟の設置。（東畦原整理作業棟撤去に伴い貸借開始）収蔵庫二期工事
2006	18. 4. 1	所長清野勉発令。職員64名（うち任期付き職員18名）。非常勤職員8名となる。

### Ⅲ 平成17年度の活動状況

埋蔵文化財センターは次に掲げる業務を行っている。

- 1 埋蔵文化財の調査研究
- 2 出土品その他の資料の保存及び活用
- 3 埋蔵文化財の調査研究に係る図書その他の資料の整備
- 4 埋蔵文化財関係者の専門的・技術的な研修及び指導
- 5 埋蔵文化財保護思想の普及及び啓発

平成17年度は以下に記述する事業を実施した。

#### 1 埋蔵文化財緊急調査

##### (1) 発掘調査

東九州自動車道や国道をはじめ、国、県施設の建設に伴う確認調査、発掘調査を実施している。平成17年度は板平遺跡（日向市）、朝倉遺跡（都農町）、尾花A遺跡（川南町）、吉牟田遺跡（高原町）など29遺跡の本調査と東九州自動車道建設関連の15遺跡の確認調査を実施した。

##### 確認調査一覧

	遺跡名	所在地	主な時代	主な遺構	主な遺物	調査期間	調査面積	調査担当者	調査原因
1	分蔵遺跡	門川町 大字門川 尾末	縄文晩期		突帯文土器、 石錘	H17.8.8 ～ H17.8.11	78㎡	向江修一 三品典生 淵ノ上隆介	東九州自動車道(門川～日向間)建設
2	板平遺跡	日向市 大字富高	旧石器 縄文早期  弥生末～ 古墳初頭	集石遺構 炉穴 竪穴住居	二次加工剥片 条痕文土器、 土器	H17.8.22 ～ H17.10.3	1,500㎡	向江修一 三品典生 淵ノ上隆介	東九州自動車道(門川～日向間)建設
3	塩見城跡 (一次)	日向市 大字塩見	中世	曲輪群 堀切		H17.11.14 ～ H18.1.24	10㎡	淵ノ上隆介 森本征明 三品典生 岡田 諭	東九州自動車道(門川～日向間)建設
4	中山遺跡 (一次)	日向市 大字塩見	中世	掘立柱建物	陶磁器、土師 器、青磁	H17.12.1 ～ H17.12.22	150㎡	淵ノ上隆介 森本征明 三品典生 岡田 諭	東九州自動車道(門川～日向間)建設
5	権現原遺跡	日向市 大字塩見	縄文早期 中近世		土器 陶器	H17.11.14 ～ H17.12.21	192㎡	森本征明 淵ノ上隆介 三品典生 岡田 諭	東九州自動車道(門川～日向間)建設
6	池ノ下遺跡 (一次)	日向市 大字塩見	旧石器 縄文		角錐状石器、 土器、石斧	H17.11.14 ～ H18.2.20	210㎡	森本征明 淵ノ上隆介 三品典生 岡田 諭	東九州自動車道(門川～日向間)建設
7	大谷尻遺跡 (一次)	日向市 大字平岩	近世		須恵器、土錘 陶器	H18.2.7 ～ H18.2.10	150㎡	森本征明 三品典生	東九州自動車道(門川～日向間)建設
8	朝倉遺跡 (二次)	都農町 大字川北	時期不明	土坑 1		H17.6.13 ～ H17.11.14	1,089㎡	岸田裕一 山田洋一郎	東九州自動車道(都農～西都間)建設
9	朝草原遺跡 (二次)	都農町 大字川北	旧石器 縄文早期	集石遺構 1	敲石・剥片 土器・石鏃	H17.6.1 ～ H17.7.27	235㎡	井上美奈子 河野康男	東九州自動車道(都農～西都間)建設
10	尾立第3遺跡	都農町 大字川北	旧石器		剥片	H17.6.1 ～ H17.7.27	160㎡	井上美奈子 河野康男	東九州自動車道(都農～西都間)建設

	遺跡名	所在地	主な時代	主な遺構	主な遺物	調査期間	調査面積	調査担当者	調査原因
11	立野第5遺跡	都農町 大字川北	旧石器 縄文早期	礫群1 集石遺構1	ナイフ形石器 角錐状石器 敲石・剥片 土器・剥片	H17.6.1 ～ H17.8.5	1,380㎡	日高優子 松林豊樹 瀧ノ上隆介	東九州自動車道(都農～西都間)建設
12	立野第1遺跡(一次)	都農町 大字川北	旧石器 縄文 弥生		剥片 石鏃・剥片 土器	H17.6.1 ～ H17.8.1	230㎡	安藤利光	東九州自動車道(都農～西都間)建設
13	立野第1遺跡(二次)	都農町 大字川北	旧石器 縄文早期		剥片 土器・石核 礫器・剥片	H17.9.1 ～ H17.9.28	246㎡	安藤利光 松林豊樹	東九州自動車道(都農～西都間)建設
14	立野第2遺跡	都農町 大字川北	旧石器 縄文早期 弥生	集石遺構	剥片 土器・石鏃 土器	H17.6.1 ～ H17.8.1	24㎡	安藤利光	東九州自動車道(都農～西都間)建設
15	上ノ原・北分遺跡	川南町 大字川南	縄文早期		石鏃 スクレイパー	H17.7.1 ～ H17.7.25	493㎡	竹田享志	東九州自動車道(都農～西都間)建設
16	尾花A遺跡(二次)	川南町 大字川南	弥生～ 古墳 中世	竪穴住居 土坑 掘立柱建物	土器	H17.8.22 ～ H17.8.23	100㎡	福田 聡	東九州自動車道(都農～西都間)建設
17	尾花A遺跡(三次)	川南町 大字川南	旧石器 縄文早期 時期不明	集石遺構 土坑 溝	剥片 剥片	H17.10.12 ～ H17.11.1	260㎡	松林豊樹 竹田享志	東九州自動車道(都農～西都間)建設

平成17年度発掘調査一覧

	遺跡名	所在地	主な時代	主な遺構	主な遺物	調査期間	調査面積	調査担当者	調査原因
1	分蔵遺跡	門川町 大字門川 尾末	縄文後・ 晩期		天城式・黒川 式土器、突帯 文土器、石錘 石斧、剥片	H17.9.29 ～ H17.11.4	534㎡	瀧ノ上隆介 岡田 諭	東九州自動車道(門川～日向間)建設
2	板平遺跡	日向市 大字富高	旧石器 縄文早期 弥生～古 墳 時期不明	集石遺構1 炉穴6 竪穴住居6 掘立柱建物1 土坑11	石核、剥片 土器 土器、磨石、 台石、石錘	H17.10.20 ～ H18.3.31	4,700㎡	向江修一 三品典生 石津晴菜	東九州自動車道(門川～日向間)建設
3	朝倉遺跡 (尾立第2 遺跡を含む)	都農町 大字川北	旧石器 縄文早期 弥生末	礫群62 土坑28 集石遺構3 土坑1	ナイフ形石器 角錐状石器、 局部磨製石斧 細石刃核 押型文・貝殻 文土器、石鏃 土器	H17.6.9 ～ H18.2.10	5,200㎡	岸田裕一 山田洋一郎	東九州自動車道(都農～西都間)建設
4	朝草原遺跡	都農町 大字川北	旧石器 縄文 縄文早期	礫群3 集石遺構2	角錐状石器、 剥片、細石刃核 無文土器 条痕文土器、 石鏃	H17.9.1 ～ H17.12.22	4,430㎡	井上美奈子 河野康男	東九州自動車道(都農～西都間)建設
5	尾立第3遺跡	都農町 大字川北	旧石器 縄文早期	礫群11 集石遺構1	ナイフ形石器 角錐状石器、 剥片尖頭器 剥片、細石刃核 石鏃	H17.9.1 ～ H17.10.26	1,000㎡	井上美奈子 河野康男	東九州自動車道(都農～西都間)建設



	遺跡名	所在地	主な時代	主な遺構	主な遺物	調査期間	調査面積	調査担当者	調査原因
6	立野第5遺跡	都農町 大字川北	旧石器  縄文早期	礫群40 土坑2  集石遺構2 土坑1	ナイフ形石器 角錐状石器、 剥片尖頭器 敲石、細石刃核 石鏃、石匙、 剥片	H17.9.2 ～ H17.12.27	2,500㎡	日高優子 安藤利光 松林豊樹 児玉 幹	東九州自動 車道(都農～ 西都間)建設
7	立野第2遺跡	都農町 大字川北	旧石器 縄文早期	礫群1 集石遺構15	石核、剥片 条痕文・無文 土器、石鏃、 磨石、敲石	H17.9.2 ～ H17.12.27	188㎡	日高優子 安藤利光 松林豊樹 児玉 幹	東九州自動 車道(都農～ 西都間)建設
8	八幡第2遺跡	川南町大 字川南	縄文中期 弥生後期	集石遺構1 堅穴住居6	隆帯文土器、 石鏃 土器、石庖丁 磨製石鏃、磨 石、砥石	H17.4.1 ～ H17.7.1 (H16年度か ら継続)	2,500㎡	森本征明 大山博志 向江修一	東九州自動 車道(都農～ 西都間)建設
9	登り口第1遺跡	川南町大 字川南	旧石器 縄文中期 ～早期	炉穴9	剥片尖頭器、 剥片、細石刃 爪形文土器、 条痕文土器、 石鏃、剥片	H17.7.1 ～ H17.9.2	1,130㎡	白地 浩 児玉 幹	東九州自動 車道(都農～ 西都間)建設
10	登り口第2遺跡	川南町大 字川南	縄文早期 古墳中期	堅穴住居1	押型文土器、 石皿、剥片 土器	H17.7.14 ～ H17.9.2	3,800㎡	小川太志 岡田 諭	東九州自動 車道(都農～ 西都間)建設
11	市納上第2遺跡	川南町大 字川南	旧石器  縄文早期 縄文後期	礫群3  集石遺構32	ナイフ形石器 剥片尖頭器、 石核、剥片 条痕文・押型 文土器、石鏃 土器、磨石	H17.7.1～ H17.12.27	2,190㎡	立神勇志 河野雅人	東九州自動 車道(都農～ 西都間)建設
12	中ノ迫第2遺跡	川南町大 字川南	旧石器  縄文早期 弥生後期	礫群8  集石遺構38 炉穴1  堅穴住居2	ナイフ形石器 角錐状石器、 剥片尖頭器、 細石刃核、 条痕文・押型 文・刺突文土 器、石鏃、敲石 土器、石庖丁 砥石	H17.6.9 ～ H18.3.30	19,130㎡	佐竹智光 長友久昭 島木良浩 大山博志	東九州自動 車道(都農～ 西都間)建設
13	中ノ迫第3遺跡	川南町大 字川南	旧石器  縄文早期	礫群4 土坑4  集石遺構33 炉穴21 土坑16	ナイフ形石器 角錐状石器、 石斧、剥片 細石刃 条痕文・押型 文土器、石 鏃、石斧	H17.4.1 ～ H17.8.4 (H16年度か ら継続)	2,560㎡	渡辺美幸 天野玄普 石津晴菜	東九州自動 車道(都農～ 西都間)建設
14	前ノ田村上第2遺跡	川南町大 字川南	旧石器 縄文中期 ～早期 弥生後期	礫群30  集石遺構5 炉穴1 堅穴住居2	ナイフ形石器 剥片尖頭器 細石刃核、 隆帯文土器 石鏃、剥片 土器、石庖丁 磨石	H17.5.16 ～ H17.11.30	6,045㎡	嶋田史子 永田和久	東九州自動 車道(都農～ 西都間)建設
15	国光原遺跡	川南町大 字川南	旧石器 縄文中期 ～早期 中世	礫群1  集石遺構54 炉穴41 陥し穴1 溝状遺構15	角錐状石器 細石刃、剥片 隆帯文土器 押型文土器、 石鏃、石核、 土師皿	H17.4.1 ～ H17.8.30 (H16年度か ら継続)	3,400㎡	安藤正純 福田光宏	東九州自動 車道(都農～ 西都間)建設

	遺跡名	所在地	主な時代	主な遺構	主な遺物	調査期間	調査面積	調査担当者	調査原因	
16	尾花A遺跡 (一次)	川南町 大字川南	旧石器 縄文前期 縄文早期	集石遺構100 弥生中・後期 古墳前期 古墳後期 古代中世	堅穴住居10 堅穴住居 100 堅穴住居 1 掘立柱建物13 石組遺構 2 溝状遺構	石核、剥片、 細石刃核、 隆帯文土器 押型文・条痕 文土器、石鏃 環状石斧、玉 土器、石庖丁 土師器、鉄 器、石器、轆 青磁、須恵器	H17.4.1 ～ H18.3.30 (H16年度か ら継続)	5,700㎡	大野義人 福田 聡 日高優子 田中達也 小船井 順 土谷崇夫 児玉 幹	東九州自動 車道(都農～ 西都間)建設
17	尾花A遺跡 (二次)	川南町 大字川南	旧石器 縄文早期	集石遺構	剥片 押型文・条痕 文土器、石鏃 土器、石庖 丁、敲石 土師器、磨石 土師器、白磁	H17.10.3 ～ H18.3.29	3,000㎡	天野玄普 竹田享志 小川太志 河野康男 福田光宏	東九州自動 車道(都農～ 西都間)建設	
18	尾花A遺跡 (三次)	川南町 大字川南	旧石器 縄文早期	集石遺構27	剥片尖頭器 条痕文土器、 石鏃、石斧 土器、磨石	H17.12.15 ～ H18.3.31 (H18年度へ 継続)	13,140㎡	小川太志 永田和久 山田洋一郎 堀口悟史 岸田裕一 河野雅人 田中達也 小船井 順 土谷崇夫 児玉 幹	東九州自動 車道(都農～ 西都間)建設	
19	南中原第1 遺跡	高鍋町 大字上江	旧石器 縄文早期	集石遺構14 土坑10 土坑5	剥片 条痕文土器、 石鏃	H17.4.1 ～ H17.12.22	12,050㎡	堀口悟史 重留康宏 小川太志 土谷崇夫	東九州自動 車道(都農～ 西都間)建設	
20	勘大寺遺跡 (二次)	新富町 大字新田	旧石器 縄文早期	礫群50 集石遺構 3	ナイフ形石器 剥片尖頭器、 敲石、剥片等 石鏃、石斧、 磨石	H17.4.1 ～ H17.6.1 (H16年度か ら継続)	3,000㎡	立神勇志 安藤利光 淵ノ上隆介 河野雅人	東九州自動 車道(都農～ 西都間)建設	
21	尾小原遺跡 (三次)	新富町 大字新田	旧石器 縄文早期	集石遺構65 炉穴 7 土坑3	剥片 押型文・条痕 文土器、石鏃 石斧、磨石 孔列文土器	H17.4.1 ～ H17.5.13 (H16年度か ら継続)	800㎡	岡田 諭 島木良浩 佐竹智光 児玉 幹	東九州自動 車道(都農～ 西都間)建設	
22	吉牟田遺跡	高原町大 字後川内	縄文 中世 近世	土坑 3 溝 状遺構 1 ピット群	縄文土器、石 鏃、打製石斧 石錘、磨石、 敲石、台石 土師器 陶磁器	H17.6.1 ～ H17.8.12	290㎡	柳田裕三 甲斐貴充	地域連携推 進機能強化 道路整備事 業都城野尻 線(氏益工 区)	
23	無遺跡 D2地点	都城市 今町	縄文 弥生 古代～中 世	土坑 4 土坑 10 道状遺構 1	縄文土器、打 製石斧、石鏃、 磨石、敲石 弥生土器 土師器、 須恵器、	H17.6.13 ～ H17.12.20	4,600㎡	福田泰典 丹 俊詞	地域連携推 進道路整備 事業都城東 環状線(今 町工区)	

遺跡名	所在地	主な時代	主な遺構	主な遺物	調査期間	調査面積	調査担当者	調査原因
		近世	溝状遺構 土坑 1	緑釉中国産陶磁器（白磁・青磁）、滑石製石鍋、砥石 近世陶磁器、銭貨				
24 堀川運河跡（第7次調査）	日南市園田町春日町	近代	運河護岸石積み	—	H17.5.17 ～ H17.5.25	120㎡	柳田裕三 甲斐貴充	堀川運河港湾環境整備事業
25 曾井第2遺跡	宮崎市大字恒久字曾井	古代 中近世	周溝状遺構 掘立柱建物跡 8 井戸 6 池状遺構 石列	土師器 須恵器 土師器 青磁 白磁 銭貨 青花 近世陶磁器 茶臼 硯	H17.8.17 ～ H18.3.6	4,300㎡	甲斐貴充 柳田裕三	一般国道269号(加納バイパス)交通円滑化事業
26 堀川運河跡（第8次調査）	日南市園田町春日町	近代	運河護岸石積み	—	H17.8.24 ～ H18.2.10	160㎡	柳田裕三 甲斐貴充	堀川運河港湾環境整備事業
27 別府町遺跡	宮崎市別府市町	弥生 中世 近世	竪穴住居 1 掘立柱建物 2 溝状遺構 4	弥生土器 土師器 陶磁器	H17.6.1 ～ H17.8.8	1,100㎡	橋本 英俊 平山十四郎	宮崎法務総合庁舎建設
28 諸麦遺跡	都城市平塚町	弥生 中世	竪穴住居12 周溝状遺構 2、掘立柱建物5	弥生土器、石庖丁、磨製石鏃、砥石、炭化米 青磁碗、白磁皿、播鉢	H17.7.25 ～ H18.2.10	4,000㎡	黒木俊彦 丹 俊詞	一般国道10号都城道路建設
29 赤木遺跡第8地点（三次）	延岡市舞野町	旧石器	礫群、焼土土坑	細石核、ナイフ形石器、剥片尖頭器、敲石、台石、角錐状石器	H17.12.12 ～ H18.3.17	1,000㎡	平山十四郎 赤崎 広志	一般国道218号北方延岡道路建設

## (2) 発掘調査に伴う調査指導及び職員の資料調査

慎重な調査を要する遺跡の調査にあたって、調査方法等の指導を受けるため各分野の専門の研究者を招聘した。また、時代のはっきりしない遺物や考古学以外の分析を必要とする遺物について職員を派遣し指導を受けた。

### < 調査指導 >

所属・氏名	指導内容	場所	日程
文化庁文化財部記念物課 埋蔵文化財部門 調査官 清野 孝之	東九州自動車道関連調査指導 (縄文)	朝倉遺跡・尾立第3遺跡・ 中ノ迫第2遺跡・前ノ田村 上第2遺跡・尾花A遺跡 (一次・二次)	H17.10.13～14

所属・氏名	指導内容	場所	日程
京都大学文学部 教授 泉 拓良	東九州自動車道関連調査指導 (縄文)	朝倉遺跡・尾立第3遺跡・ 中ノ迫第2遺跡・前ノ田村 上第2遺跡・尾花A遺跡 (一次・二次)	H17.10.13~14
鹿児島大学文学部 教授 本田 道輝	東九州自動車道関連調査指導 (縄文)	朝倉遺跡・尾立第3遺跡・ 中ノ迫第2遺跡・前ノ田村 上第2遺跡・尾花A遺跡 (一次・二次)	H17.10.13~14
宮崎大学文教育文化学部 教授 柳沢 一男	東九州自動車道関連調査指導 (古墳)	朝倉遺跡・尾立第3遺跡・ 中ノ迫第2遺跡・前ノ田村 上第2遺跡・尾花A遺跡 (一次・二次)	H17.10.13~14
国立歴史民俗博物館 教授 広瀬 和雄	東九州自動車道関連調査指導 (弥生)	朝倉遺跡・朝草原遺跡・立 野第5遺跡・中ノ迫第2遺 跡・前ノ田村上第2遺跡・ 尾花A遺跡 (一次・二次)	H17.11.9~10
熊本大学文学部 助教授 小畑 弘己	東九州自動車道関連調査指導 (旧石器)	朝倉遺跡・朝草原遺跡・立 野第5遺跡・中ノ迫第2遺 跡・前ノ田村上第2遺跡・ 尾花A遺跡 (一次・二次)	H17.11.9~10
愛媛大学文学部 教授 田崎 博之	東九州自動車道関連調査指導 (弥生)	朝倉遺跡・朝草原遺跡・立 野第5遺跡・中ノ迫第2遺 跡・前ノ田村上第2遺跡・ 尾花A遺跡 (一次・二次)	H17.11.9~10
鹿児島大学文学部 教授 本田 道輝	東九州自動車道関連調査指導 (縄文)	埋蔵文化財センター本館 尾花A遺跡 (二次)	H18.3.6~7
熊本大学文学部 助教授 小畑 弘己	東九州自動車道関連調査指導 (旧石器)	埋蔵文化財センター本館 尾花A遺跡 (二次)	H18.3.8~9
愛媛大学文学部 教授 田崎 博之	東九州自動車道関連調査指導 (弥生)	埋蔵文化財センター本館 尾花A遺跡 (二次)	H18.3.8~9
宮崎大学文教育文化学部 教授 柳沢 一男	東九州自動車道関連調査指導 (古墳)	埋蔵文化財センター本館 尾花A遺跡 (二次)	H18.3.8~9
奈良文化財研究所 協力調整官 岡村 道雄	東九州自動車道関連調査指導 (縄文)	埋蔵文化財センター分館 尾花A遺跡 (二次)	H18.3.8~9
京都大学文学部 教授 泉 拓良	東九州自動車道関連調査指導 (縄文)	埋蔵文化財センター本館 尾花A遺跡 (二次)	H18.3.13~14
渋川市教育委員会 大塚 昌彦	東九州自動車道関連調査指導 (弥生)	埋蔵文化財センター本館 尾花A遺跡 (二次)	H18.3.13~14
奈良文化財研究所 文部技官 高妻 洋成	東九州自動車道関連調査指導 (保存処理)	埋蔵文化財センター分館 湯牟田遺跡 (二次)	H18.3.27~28

<資料調査等>

目的	出張先	日程	出張者
収蔵に関する資料調査	福岡市埋蔵文化財センター	H18.2.23、24	小山 博 竹田 享志 日高 広人
収蔵に関する資料調査	岡山県古代吉備文化財センター 岡山大学埋蔵文化財調査研究センター	H18.2.23、24	堀田 孝博
縄文時代早期の無文土器に関する 資料調査	福岡市埋蔵文化財センター 大分県教育庁埋蔵文化財センター 大分市教育委員会	H18.2.22~24	井上 美奈子 日高 優子

### (3) 出土遺物等整理及び発掘調査報告書の刊行

埋蔵文化センターでは、発掘調査で出土した遺物等の水洗、注記から実測、製図までの整理を行い、発掘調査報告書を作成している。平成17年度に整理を実施した遺跡は61遺跡で、内訳は東九州自動車道関係及び一般国道10号等国、公団からの受託事業が56遺跡、県土木事務所関係4遺跡、県関係1遺跡である。

そのうち整理作業を終了した18遺跡については発掘調査報告書を刊行し、東九州自動車道建設（都農～西都間）関連の20遺跡、東九州自動車道建設（日向～門川間）関連の7遺跡については概要報告を刊行した。

#### 出土遺物等整理作業整理実施遺跡一覧

事業名	東九州自動車道（都農～西都間）建設
事業者	日本道路公団九州支社宮崎工事事務所
遺跡名	朝倉（尾立第2）遺跡、朝草原・尾立第3遺跡、立野第2・第5遺跡、八幡第2遺跡、銀座第1遺跡、銀座第2遺跡、登り口第1遺跡、登り口第2遺跡、市納上第1遺跡、市納上第2遺跡、市納上第4遺跡、虚空蔵免遺跡、赤石・天神本遺跡、天神本第2遺跡、大内原遺跡、中ノ迫第1遺跡、中ノ迫第1（二次）遺跡、中ノ迫第2遺跡、中ノ迫第3遺跡、前ノ田村上第1遺跡、前ノ田村上第2遺跡、赤坂遺跡、国光原遺跡、湯牟田（二次）遺跡、西ノ別府遺跡、尾花A（一次）遺跡、野首第1遺跡、野首第2遺跡、南中原第1遺跡、老瀬坂上遺跡、下耳切第3遺跡、唐木戸第4遺跡、小並第1遺跡、牧内第1遺跡、東畦原第1（一次）遺跡、東畦原第1（二次）遺跡、東畦原第1（三・四次）遺跡、上新開遺跡、勘大寺（二次）遺跡、永牟田第1遺跡、永牟田第2遺跡、尾小原遺跡、尾小原（二次）遺跡、尾小原（三次）遺跡、向原第1遺跡、藤山第1遺跡、宮ノ東遺跡
事業名	東九州自動車道（門川～日向間）建設
事業者	日本道路公団（現・西日本高速道路株式会社）九州支社延岡工事事務所
遺跡名	分蔵遺跡

遺跡名	事業名	事業者
上ノ原第1(第3次～4次)遺跡	主要地方道宮崎島之内線県単道路橋梁調査	宮崎県土木部宮崎土木事務所
上ノ原第2遺跡	県道宮崎島之内線	宮崎県土木部宮崎土木事務所
筆無遺跡	地域連携推進道路整備事業 都城東環状線（今町工区）	宮崎県土木部都城土木事務所
吉牟田遺跡	地域連携機能強化整備事業 都城野尻線（氏益工区）	宮崎県土木部都城土木事務所
野門遺跡	一般国道218号北方延岡道路建設	国土交通省九州地方整備局延岡河川国道事務所
山田遺跡	一般国道218号北方延岡道路建設	国土交通省九州地方整備局延岡河川国道事務所
赤木遺跡	一般国道218号北方延岡道路建設	国土交通省九州地方整備局延岡河川国道事務所
吉野遺跡	一般国道10号延岡道路建設	国土交通省九州地方整備局延岡河川国道事務所
天下城山遺跡	一般国道10号延岡道路建設	国土交通省九州地方整備局延岡河川国道事務所

遺 跡 名	事 業 名	事 業 者
平田遺跡	一般国道10号都城道路建設	国土交通省九州地方整備局宮崎河川国道事務所
大島島田遺跡	国指定史跡大島島田遺跡整備活用支援事業	宮崎県

### 発掘調査報告書刊行一覧

	巻 号	報告書名	副書名	執筆・編集者
1	発掘調査報告書 第114集	永牟田第1遺跡	東九州自動車道（都農～西都間）建設に伴う埋蔵文化財 発掘調査報告書19	山田洋一郎
2	発掘調査報告書 第115集	銀座第2遺跡	東九州自動車道（都農～西都間）建設に伴う埋蔵文化財 発掘調査報告書20	永田和久
3	発掘調査報告書 第116集	前ノ田村上第1遺跡	東九州自動車道（都農～西都間）建設に伴う埋蔵文化財 発掘調査報告書21	河野康男
4	発掘調査報告書 第117集	尾小原遺跡（二次調査）	東九州自動車道（都農～西都間）建設に伴う埋蔵文化財 発掘調査報告書22	長友久昭
5	発掘調査報告書 第118集	老瀬坂上第3遺跡	東九州自動車道（都農～西都間）建設に伴う埋蔵文化財 発掘調査報告書23	阿部直人/竹田享志
6	発掘調査報告書 第119集	向原第1遺跡	東九州自動車道（都農～西都間）建設に伴う埋蔵文化財 発掘調査報告書24	戌亥浩志/長津宗重/金丸琴路
7	発掘調査報告書 第120集	銀座第1遺跡（一・二・三・四次調査）	東九州自動車道（都農～西都間）建設に伴う埋蔵文化財 発掘調査報告書25	永山博一/鶴戸周成/堀田孝博
8	発掘調査報告書 第121集	市納上第1遺跡・市納上第4遺跡	東九州自動車道（都農～西都間）建設に伴う埋蔵文化財 発掘調査報告書26	森本征明
9	発掘調査報告書 第122集	虚空蔵免遺跡、赤石・天神本遺跡	東九州自動車道（都農～西都間）建設に伴う埋蔵文化財 発掘調査報告書27	島木良浩
10	発掘調査報告書 第123集	天神本第2遺跡・大内原遺跡	東九州自動車道（都農～西都間）建設に伴う埋蔵文化財 発掘調査報告書28	吉本正典/白地浩
11	発掘調査報告書 第124集	西ノ別府遺跡	東九州自動車道（都農～西都間）建設に伴う埋蔵文化財 発掘調査報告書29	三品典生
12	発掘調査報告書 第125集	下耳切第3遺跡	東九州自動車道（都農～西都間）建設に伴う埋蔵文化財 発掘調査報告書30	今塩屋毅行
13	発掘調査報告書 第126集	唐木戸第4遺跡	東九州自動車道（都農～西都間）建設に伴う埋蔵文化財 発掘調査報告書31	藤木 聡
14	発掘調査報告書 第127集	東畦原第1遺跡（二次調査）	東九州自動車道（都農～西都間）建設に伴う埋蔵文化財 発掘調査報告書32	永野高行/松本茂
15	発掘調査報告書 第128集	東畦原第1遺跡（三・四次調査）	東九州自動車道（都農～西都間）建設に伴う埋蔵文化財 発掘調査報告書33	大山博志
16	発掘調査報告書 第129集	上新開遺跡	東九州自動車道（都農～西都間）建設に伴う埋蔵文化財 発掘調査報告書34	小山 博

巻号	報告書名	副書名	執筆・編集者
17 発掘調査報告書 第130集	山崎上ノ原第2遺跡Ⅱ	主要地方道宮崎島之内線県単道路橋梁調査に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	柳田晴子
18 発掘調査報告書 第131集	東九州自動車道（都農～西都間）関連埋蔵文化財発掘調査概要報告書Ⅵ	東九州自動車道（都農～西都間）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書Ⅵ	岡田 諭他
19 発掘調査報告書 第132集	東九州自動車道（門川～日向間）関連埋蔵文化財発掘調査概要報告書Ⅰ	東九州自動車道（門川～日向間）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書Ⅰ	岡田 諭他

#### (4) 保存処理

保存処理室では、鉄製品や木製品を保存処理している。宮崎県は、地下式横穴墓から多量の鉄製品が良好な状態で出土するため、年次的に鉄製品保存処理関係機器を整備してきた。木製品については、PEG含浸装置等が未設置であるため、委託あるいはバキュームシーラーでのパッキング等に対応している。また、市町村教育委員会からの備品の利用や保存処理の依頼についても受け入れている。17年度は10遺跡の資料について処理を実施した。

#### 保存処理・調査研究関係備品一覧

設置場所	機器名	製品名（規格）	製造会社名	購入年	備考
鉄器保存処理室 （分館）	送風定温乾燥機	DN-61型	ヤマト科学	1983	漏電ブレーカー
	定温乾燥機	DN-94型	ヤマト科学	1992	
	鉄器樹脂含浸装置	300×1200		1983	
	精密噴射加工機	POWER BLAST 50N	岡本歯研	1992	
	小型グラインダー	ミニタースタンダード	関東機器	1993	
	軟X線装置	ソフテックス SP-1501	ソフテックス	1991	TVシステム
	小型空気圧縮機	EF-OUKT	日立製作所	1983	
	ドラフトチャンバー	CSF-K15	島津理化	1992	

設置場所	機器名	製品名（規格）	製造会社名	購入年	備考
木器保存処理室 （分館）	脱塩洗浄処理装置		滝口製作所	1992	
一次処理室 （分館）	超音波洗浄器	5200J4	シャープ	1991	
	卓上バキュームシーラー	SQ-202	サランラップ	1991	SQドレン付
復元処理室 （本館）	実体顕微鏡	SMZ-2T	ニコン	1991	写真撮影装置付
写場 （本館）	赤外線カメラ	IRRS-100	浜松ホトニクス	1992	

## 平成17年度鉄器保存処理実施遺跡

遺跡名	主な器種	保存処理
湯牟田	短刀・鉄鏃・鉄片・板状鉄斧など	土、錆を落とし、エタノール洗浄。
山崎上ノ原第2 (三次・四次)	鉄鏃・刀子・鎌・不明鉄器など	土、錆を落とし、エタノール洗浄。 脱塩処理・含浸処理中。
中山	釘など	脱塩処理・含浸処理中。
筆無B～D2地点	刀子など	土、錆を落とし、エタノール洗浄。 一部、脱塩処理中。
野首第1	鎌・角釘・銭貨・煙管・鉄鏃・簪・和鏡など	土、錆を落とし、エタノール洗浄。
野首第2	鉄刀・刀子・銭貨・不明青銅製品など	土、錆を落とし、エタノール洗浄。
尾花A	鉄鏃・鉄片・刀子など	土、錆を落とし、エタノール洗浄。
吉野	釘・鉄鏃・刀子・銭貨など	土、錆を落とし、エタノール洗浄。
西ノ別府	銅鏡	土落し後、吉田生物研究所に委託。
宮ノ東	銅鏡	土落し後、吉田生物研究所に委託。

### (5) 収蔵整理

#### ① 新収蔵庫

今年度完成した新収蔵庫には、主に報告書刊行済み遺物の一部をコンテナ数で3,576箱分の搬入を行った。17年度搬入したコンテナ数1,990箱分と合わせて、コンテナ数5,566箱分の収蔵を行った。

#### ② 登録作業

平成17年度現在、台帳に登録した遺物は156遺跡コンテナ数で累計4,113箱、17年度分は23遺跡198箱である。遺物実測図については24遺跡、遺構実測図については20遺跡分の整理が終了した。遺物はコンテナ収蔵を基本とし、コンテナ外面に遺物登録番号、コンテナ番号、棚番号等を表示している。

なお、蓄積し続ける未登録資料の登録の効率化を図るため、平成18年1月から3月にかけて登録体制整備検討委員会を設けて新登録システム構築作業と登録要項の作成を行った。新登録システムは18年度から開始する予定である。

## 平成17年度収蔵整理実施遺跡

	遺跡名	所在地		遺跡名	所在地
1	西下本庄遺跡	国富町	13	梅北佐土原遺跡	都城市
2	本城原遺跡	野尻町	14	中尾遺跡	都城市
3	永ノ原遺跡	清武町	15	養原遺跡	都城市
4	権現原第2遺跡	清武町	16	黒草第1・3遺跡	田野町
5	杉木原遺跡	清武町	17	本野原遺跡	田野町
6	町屋敷遺跡	宮崎市	18	黒草第2遺跡	田野町
7	元地原遺跡	西都市	19	七野第3遺跡	田野町
8	梅ヶ島遺跡	佐土原町	20	山中前遺跡	小林市
9	大辻屋敷遺跡	西都市	21	上ノ迫遺跡	佐土原町
10	虎崩・榎木田遺跡	山田町	22	木城村古墳27・60号	木城町
11	黒瀬戸遺跡	高崎町	23	内城跡	佐土原町
12	上示野原遺跡	高崎町	24	右葛ヶ迫遺跡(2次)	宮崎市

※ 1の西下本庄遺跡は前年度から継続整理のため実績数は平成16年度に記載している。

※ 所在地は、市町村合併前の旧市町村である。

#### ② 図書資料

全国から送られてくる発掘調査等の報告書や購入書籍・雑誌類を図書室に集架している。平成17年度は3,336冊の受け入れがあり、合計収蔵数は51,280冊になる。図書類は今年度よりバーコードを利用した図書管理システムを導入し、パソコンによるデータベース登録を実施している。

## 2 教育普及活動

分館では、常設およびコーナー展示を行っている。そのほか、展示場から遺物整理作業を見学できるようにしている。「コーナー展」は年2回開催し最新の発掘成果を速報として展示した。また、毎月第4土曜日(12月は第3土曜日)には分館研修室を中心に埋蔵文化財講座「遺跡をたずねて」を開催した。

11月の文化財保護強調週間には事業の一環として「施設公開」『わくわく埋文探検』を実施した。

### (1) 展示

#### ① 常設展示

埋蔵文化財の保護と宮崎の歴史  
文化財保護法と発掘調査の流れに関する解説



②コーナー展

展 示 テ ー マ	展 示 期 間	展 示 内 容
発掘調査の成果展 I ・児湯郡の遺跡 ・東九州自動車道建設に伴う発掘調査	H17.4.30 ～ H17.10.16	竹淵C遺跡（新富町）、尾花坂上遺跡（川南町） 唐木戸第1遺跡（高鍋町）、東畦原第2遺跡（新富町）
発掘調査の成果展 II ・延岡市の遺跡 ・東九州自動車道建設に伴う発掘調査	H17.10.29 ～ H18.4.16	山口遺跡第2地点（延岡市）、山田遺跡（延岡市） 崩戸遺跡（高鍋町）、前ノ田村上遺跡（川南町）

(2) 埋蔵文化財講座「遺跡をたずねて」

毎月第4土曜日（12月は第3土曜日）の午後1時30分から3時まで講座を実施している。講師は県内市町村専門職員および埋蔵文化財センター職員等がつとめ、平成17年度は「最近の発掘調査の成果から'05」という年間テーマのもと12回の講座を開講した。

	開催日	講 座 名	講 師	受講者
1	H17. 4.23	中世のお墓事情	宮崎県埋蔵文化財センター 小山 博	19名
2	H17. 5.28	墓のある丘、古墳時代の夜明け	宮崎県埋蔵文化財センター 興梠 慶一	33名
3	H17. 6.25	今、甦る日向国分寺跡	西都市教育委員会 釜瀬 明宏	24名
4	H17. 7.23	講演と調査報告会	次項参照	109名
5	H17. 8.27	夏休み特別企画「体験講座」	宮崎県埋蔵文化財センター職員	32名
6	H17. 9.24	見えてきた、生目古墳群	宮崎市教育委員会 稲岡 洋道	33名
7	H17.10.22	発掘からみたリサイクル事情	宮崎県埋蔵文化財センター 竹田 享志	23名
8	H17.11.26	古墳時代の火処	宮崎県埋蔵文化財センター 今塩屋毅行	26名
9	H17.12.17	周溝墓のいろいろ	宮崎県埋蔵文化財センター 丹 俊詞	21名
10	H18. 1.28	都城盆地の弥生集落	宮崎県埋蔵文化財センター 久保 春夫 日高 広人	49名
11	H18. 2.25	石器と礫群	宮崎県埋蔵文化財センター 立神 勇志	22名
12	H18. 3.25	縄文時代の小丸川流域	宮崎県埋蔵文化財センター 重留 康宏	34名
※ 実施場所：分館1階研修室（7月のみ県民文化ホール）				合 計 425名

○講演と調査報告会

7月の講座は「講演と調査報告会」として23日に県総合博物館県民文化ホールにおいて開催した。

講演と調査報告会 講 演 『よみがえる遺物たち ～保存科学最前線～』	別府大学助教授	渡辺智恵美
調査報告1「山崎下ノ原第1遺跡出土の 金銅装馬具について」	宮崎県埋蔵文化財センター	柳田 晴子
調査報告2「西都原考古博物館における 出土人骨の保管」	西都原考古博物館	二宮 満夫



講演会のようす (開会行事)



調査報告会のようす (渡辺智恵美 氏)

### (3) 施設公開「わくわく埋文探検」

11月の文化財保護強調週間に合わせて、5日～6日の2日間に分館において「施設公開 (わくわく埋文探検)」を実施した。昨年度まで、みやざき文化フェスティバル (県立芸術劇場・県立美術館・県立図書館・県総合博物館・県埋蔵文化財センターの5館の共同開催) の事業の一環として実施してきたが、本年度は単独による開催を行った。

開催日	内 容	参加者数
17.11.5～11.6	(1) 整理作業の実演 (土器片洗浄, 土器や石器の実測実演等) (2) 実体顕微鏡で火山灰や土器に含まれている鉱物を見る。 (3) 赤外線TVで土器に書かれた文字を見る。 (4) 軟X線装置で錆に覆われた鉄器や鏡などを観察する。 (5) 体験作業 ①土器の模様を墨で紙に写し取り、しおりを作成する。(拓本) ②壊れた土器を復元する (復元) ③押形文や貝殻文を復元する。(施文) ④粘土で土器を作る ⑤石器を使って紙を切ったり、ドングリをすりつぶしたりして遊ぶ。 (6) 収蔵庫見学 (7) 復元した土器の展示 (8) ビデオ上映 「名探偵コナン 縄文体験やってみよう」ほか (9) 展示解説	283名



施設公開のようす (土器づくり)



施設公開のようす(土器の接合)

#### (4) 埋蔵文化財専門職員研修会

埋蔵文化財センターでは、発掘調査技術等の向上をめざし、県及び市町村埋蔵文化財担当専門職員を対象とした研修を実施している。

内 容	場 所	期 日	参 加 者 数
埋蔵文化財担当専門職員研修会（１） ・「金属製遺物の取扱いについて」	埋蔵文化財センター本館	H17.7.8	市町村担当 33名 考古博物館職員 2名 センター職員 35名 計 68名
埋蔵文化財担当専門職員研修会（２） ・「遺構調査方法の再検討～掘立柱建物跡～」	埋蔵文化財センター分館 曾井第２遺跡（宮崎市）	H17.12.8 ～ H17.12.9	市町村担当 18名 センター職員 25名 計 43名

#### (5) 現地説明会及び結果報告会

平成17年度は現地説明会を4現場、結果報告会を3か所で実施した。

##### ○現地説明会

	遺 跡 名	所在地	期 日	参加者数	事業内容
1	八幡第2遺跡現地説明会	川南町	H17. 5. 14（土）	73名	東九州自動車道
2	吉牟田遺跡現地説明会	高原町	H17. 8. 2（火）	22名	地域連携機能強化整備事業 都城野尻線
3	曾井第2遺跡現地説明会	宮崎市	H18. 2. 12（日）	78名	一般国道269号交通円滑化 事業
4	尾花A遺跡現地説明会	川南町	H18. 2. 19（日）	110名	東九州自動車道
計 283名					

##### ○結果報告会

	遺 跡 名	実施場所	期 日	参加者数	事業内容
1	新富町内遺跡調査報告会 勘大寺・永牟田第2・ 尾小原・藤山第1遺跡	新富町 文化会館	H17. 7. 9（土）	106名	東九州自動車道
2	筆無遺跡調査報告会	都城市 下今町自治 公民館	H18. 1. 29（日）	79名	都城東環状線地域連携推進 道路 一般国道10号都城道路
3	高鍋町内遺跡調査報告会 野首第2・南中原第1遺跡 唐木戸第4遺跡	高鍋町 中央公民館	H18. 3. 18（土）	82名	東九州自動車道
計 267名					

## (6) 広報出版物

埋蔵文化財保護啓発活動の一環として埋蔵文化財センターの「事業案内」及び「埋文通信」の発行や埋蔵文化財講座、施設公開等についてもポスターやパンフレット、資料等の作成を行った。

	広 報 出 版 物	発 行 年 月
1	平成17年度埋蔵文化財講座 第1回「中世のお墓事情」 ポスター	H17. 4
2	発掘調査の成果展Ⅰ ポスター	H17. 4
3	平成17年度埋蔵文化財講座 第2回「墓のある丘 古墳時代の夜明け前」 ポスター	H17. 4
4	八幡第2遺跡現地説明会 ポスター	H17. 5
5	平成17年度埋蔵文化財講座 第3回「今、甦る日向国分寺跡」 ポスター	H17. 5
6	平成17年度埋蔵文化財講座 第4回「講演と事例報告会」 ポスター及びチラシ	H17. 6
7	新富町内遺跡合同調査報告会 ポスター	H17. 7
8	平成17年度埋蔵文化財講座 第5回「発掘探検隊 掘り出せ歴史」 ポスター及びチラシ	H17. 7
9	宮崎県埋蔵文化財センター年報 第9号	H17. 7
10	平成17年度埋蔵文化財講座 第6回「見えてきた生目古墳群」 ポスター	H17. 8
11	平成17年度埋蔵文化財講座 第7回「発掘からみたリサイクル事情」 ポスター	H17. 9
12	施設公開「わくわく埋文探検」 ポスター及びチラシ	H17. 10
13	発掘調査の成果展Ⅱ ポスター	H17. 10
14	平成17年度埋蔵文化財講座 第8回「古墳時代の火処」 ポスター	H17. 10
15	平成17年度埋蔵文化財講座 第9回「周溝墓のいろいろ」 ポスター	H17. 11
16	平成17年度埋蔵文化財講座 第10回「都城盆地の弥生集落」 ポスター	H17. 12
17	筆無遺跡調査報告会 ポスター及びチラシ	H18. 1
18	平成17年度埋蔵文化財講座 第11回「石器と礫群」 ポスター及びチラシ	H18. 1
19	曾井第2遺跡発掘調査現地説明会 ポスター及びチラシ	H18. 1
20	尾花A遺跡現地説明会 チラシ	H18. 2
21	平成17年度埋蔵文化財講座 第12回「縄文時代の小丸川流域」 ポスター及びチラシ	H18. 2
22	高鍋町内遺跡調査報告会 ポスター	H18. 2
23	平成18年度宮崎県埋蔵文化財センター「事業案内」	H18. 3
24	埋蔵文化財通信「みやざき」第7号	H18. 3



4月埋蔵文化財講座



5月埋蔵文化財講座



6月埋蔵文化財講座



7月埋蔵文化財講座



8月埋蔵文化財講座



9月埋蔵文化財講座



10月埋蔵文化財講座



11月埋蔵文化財講座



12月埋蔵文化財講座

平成17年度 第10回埋蔵文化財講座「遺跡をたずねて」

# 都城盆地の弥生集落

～平田遺跡(都城市)～



講師：久森 善夫・白高 正人  
 (宮崎県埋蔵文化財センター)  
 日時：平成18年1月28日(土)  
 午後1時30分～午後3時  
 場所：宮崎県埋蔵文化財センター分館  
 1階研修室  
 入場無料


宮崎県埋蔵文化財センター  
 〒880-0003 宮崎県宮崎市下町4-4  
 TEL:0993-21-1191 FAX:0993-21-1193  
 http://www.kyushu-npc.or.jp/miyazaki/index.html

1月埋蔵文化財講座

平成17年度 第11回埋蔵文化財講座「遺跡をたずねて」

# 石器と礫群

～勝夫寺遺跡(二次調査)(新富町)～



講師：立神 勇志  
 (宮崎県埋蔵文化財センター)  
 日時：平成18年2月25日(土)  
 午後1時30分～午後3時  
 場所：宮崎県埋蔵文化財センター分館  
 1階研修室  
 入場無料

宮崎県埋蔵文化財センター  
 〒880-0003 宮崎県宮崎市下町4-4  
 TEL:0993-21-1191 FAX:0993-21-1193  
 http://www.kyushu-npc.or.jp/miyazaki/index.html

2月埋蔵文化財講座

平成17年度 第13回埋蔵文化財講座「遺跡をたずねて」

# 縄文時代の小丸川流域



講師：遠藤 昌隆  
 (宮崎県埋蔵文化財センター)  
 日時：平成18年3月25日(土)  
 午後1時30分～午後3時  
 場所：宮崎県埋蔵文化財センター分館  
 1階研修室  
 入場無料

宮崎県埋蔵文化財センター  
 〒880-0003 宮崎県宮崎市下町4-4  
 TEL:0993-21-1191 FAX:0993-21-1193  
 http://www.kyushu-npc.or.jp/miyazaki/index.html

3月埋蔵文化財講座

# 発掘調査の成果展 I

## 児湯郡の遺跡

- 1 東九州自動車建設に伴う発掘調査  
 鹿木戸第1遺跡 東路原第2遺跡
- 2 農事業に伴う発掘調査  
 竹原C遺跡 菊花坂上遺跡

平成17年4月30日(土)～10月16日(日)  
 開催時間：10時～17時(※11～9月は10:00～18:00)、早朝は入場料の30分前まで  
 観覧は、毎月第4日曜日

宮崎県埋蔵文化財センター  
 〒880-0003 宮崎県宮崎市下町4-4  
 TEL:0993-21-1191 FAX:0993-21-1193

入場無料

発掘調査の成果展

# 発掘調査の成果展 II

これを見れば、最新の宮崎の歴史がわかる。

- 1 東九州自動車建設の遺跡  
 新戸遺跡 新戸遺跡上層遺跡
- 2 基町市の遺跡  
 一畑製紙株式会社敷地内(宮崎県)に於ける調査  
 山内遺跡調査地点 山内遺跡

宮崎県埋蔵文化財センター  
 〒880-0003 宮崎県宮崎市下町4-4  
 TEL:0993-21-1191 FAX:0993-21-1193  
 http://www.kyushu-npc.or.jp/miyazaki/index.html

発掘調査の成果展

# わくわく埋文探検

来て・見て・さわって・あほう!!



埋蔵文化財センター施設分館のお知らせ  
 毎年秋、埋蔵文化財センター分館の施設公開を2日間にわたって、宮崎県内各地の小学校(小学生)を対象に、わくわく埋文探検を開催してまいりました。今年も、わくわく埋文探検を開催してまいりました。

第17年度 平成17年11月5日(土)～8日(日)  
 9:30～16:30

場所：宮崎県埋蔵文化財センター分館  
 〒880-0003 宮崎県宮崎市下町4-4  
 TEL:0993-21-1191 FAX:0993-21-1193  
 http://www.kyushu-npc.or.jp/miyazaki/index.html

入場料：無料(7歳以下の子供は別途有料です。)

宮崎県埋蔵文化財センター

わくわく埋文探検

宮崎県埋蔵文化財センター

# 筆無遺跡調査報告会



報告会日時：平成18年1月29日(日)  
 13時～16時(※11～9月は10:00～18:00)  
 場所：宮崎県埋蔵文化財センター分館  
 〒880-0003 宮崎県宮崎市下町4-4  
 TEL:0993-21-1191 FAX:0993-21-1193  
 http://www.kyushu-npc.or.jp/miyazaki/index.html

宮崎県埋蔵文化財センター  
 〒880-0003 宮崎県宮崎市下町4-4  
 TEL:0993-21-1191 FAX:0993-21-1193  
 http://www.kyushu-npc.or.jp/miyazaki/index.html

筆無遺跡調査報告会

# 曾井第2遺跡発掘調査現地説明会



【日時】平成18年2月13日(日)  
 13:15～15:00

【場所】曾井第2遺跡発掘現場  
 (宮崎市大字値久字曾井5549-0番地)

宮崎県埋蔵文化財センター  
 〒880-0003 宮崎県宮崎市下町4-4  
 TEL:0993-21-1191 FAX:0993-21-1193  
 http://www.kyushu-npc.or.jp/miyazaki/index.html

曾井第2遺跡発掘調査現地説明会

## (7) 資料等の提供

埋蔵文化財センターでは、一般や公共機関、研究機関、研究者の利用希望に応じて、可能な限り資料を提供している。資料提供には資料調査等に係る館内利用（資料の閲覧・実測等）や館外貸出及び掲載許可があり、平成17年度には館内利用が22件、館外貸出が7件、掲載許可が2件であった。

### 館内利用

遺跡・利用資料	利用者	利用目的	利用日
音明寺第1遺跡・音明寺第2遺跡（2次）・東畦原第2遺跡・西畦原第2遺跡（1次）・西畦原第2遺跡（3次）・唐木戸第3遺跡・牧内第1遺跡（4次）・牧内第2遺跡・勘大寺遺跡（旧石器）	個人	博士論文作成のための資料調査	H17.4.12~13
高野原遺跡第5地点・牧内第1遺跡・野首第1遺跡・音明寺第2遺跡・北牛牧第5遺跡・南学原第1遺跡・東畦原第3遺跡（旧石器）	個人	資料調査	H17.4.14~15
木脇遺跡・北牛牧第5遺跡・下星野遺跡（細石刃文化期間関連）	個人	資料調査	H17.4.21
阿蘇原上遺跡（縄文草創期土器）	個人	論文作成のための資料調査	H17.5.17
阿蘇原上遺跡・布平遺跡・古城遺跡・五ヶ村遺跡・大野原遺跡・早日渡遺跡・矢野原遺跡・蔵田遺跡（縄文草創期及び早期の土器・石器）	個人	資料調査	H17.6.12
長菌原遺跡・下屋敷遺跡・上ノ原遺跡・木脇遺跡・南学原第1遺跡・南学原第2遺跡・堂地西遺跡（旧石器）	個人	論文作成のための資料調査	H17.8.10~12
木脇遺跡・塚原遺跡（縄文草創期土器）	個人	修士論文作成のための資料調査	H17.8.19
北牛牧第5遺跡（AT上位旧石器）	個人	論文作成のための資料調査	H17.8.23
長菌原遺跡・音明寺第2遺跡・高野原遺跡第5地点・唐木戸第3遺跡・牧内第1遺跡（旧石器）	個人	資料調査	H17.8.25~26
音明寺第2遺跡（2次）・東畦原第2遺跡・西畦原第2遺跡（1次）・西畦原第2遺跡（2・3次）・唐木戸第3遺跡・湯傘田遺跡（1次）・勘大寺遺跡（1次）・牧内第2遺跡・長菌原遺跡・下屋敷遺跡・上ノ原遺跡・木脇遺跡（旧石器）	個人	資料調査	H16.8.25~28
神殿遺跡・南平第3遺跡・阿蘇原上遺跡・古城遺跡・五ヶ村遺跡（弥生土器）	個人	資料調査	H17.9.15~16
今江城跡・車坂城西ノ城跡（中世土器）	個人	資料調査	H17.11.4
野首第1遺跡・下屋敷遺跡・上ノ原遺跡・長菌原遺跡・南学原第2遺跡・東畦原第2遺跡・牧内第2遺跡・唐木戸第3遺跡（旧石器）	個人	論文作成のための資料調査	H17.11.13~15
平畑遺跡・学頭遺跡	団体	資料調査	H17.11.18
内城跡・矢野原遺跡・野首第1遺跡・東畦原第3遺跡・北牛牧第5遺跡・春日地区遺跡第2地点・長菌原遺跡・	団体	資料調査	H17.11.19~20

遺跡・利用資料	利用者	利用目的	利用日
上ノ原遺跡・堂地西遺跡・南学原第2遺跡・霧島遺跡・阿蘇原上遺跡・崩戸遺跡（旧石器）	団体	資料調査	H17.11.19 ~20
高野原遺跡第5地点・北牛牧第5遺跡・唐木戸第3遺跡（旧石器）	個人	資料調査	H17.11.20 ~21
南学原第1遺跡・南学原第2遺跡・北牛牧第5遺跡・音明寺第2遺跡・唐木戸第1遺跡・東畦原第2遺跡・牧内第1遺跡（四次）・唐木戸第3遺跡・勘大寺遺跡（旧石器）	個人	資料調査	H17.11.22 ~23
長菌原遺跡・下屋敷遺跡・上ノ原遺跡・矢野原遺跡・蔵田遺跡（旧石器）	個人	論文作成のための資料調査	H17.11.18, 22,24,25
天神河内第1遺跡・王子原遺跡・右葛ヶ迫遺跡・豊満大谷遺跡・坂ノ下遺跡・池島遺跡（縄文土器）	個人	資料調査	H18.1.26
矢野原遺跡・野首第2遺跡・牧内第1遺跡（旧石器）	個人	資料調査	H18.1.30 ~31
弥生時代前期の報告書	個人	資料調査	H18.2.13
弥生時代前期の報告書	個人	資料調査	H18.2.21
宮ノ東遺跡・諸麦遺跡（種子関係） 野首第2遺跡・学頭遺跡他（石製装飾品）	個人	資料調査	H18.2.7

#### 館外貸出

貸出資料名	数量	目的	期間	貸出機関名
堂地西遺跡 爪形文土器 隆帯文土器	4点 8点	平成17年度企画展「上黒岩岩陰遺跡とその時代—縄文文化の源流をたどる—」に展示するため。	H17.7.1 ~ H17.9.16	愛媛県歴史文化博物館
山崎下ノ原第1遺跡 ・出土金銅装馬具一式	31点	県立西都原考古博物館における企画展「地下式横穴墓が残したものI 1—鉄—」に展示するため。	H17.7.8 ~ H17.9.19	県立西都原考古博物館 ※展示終了後、西都原考古博物館に移管
林遺跡 発掘調査資料スライド	10点	地域住民に対する郷土史研修のため。	H17.7.20 ~ H17.9.5	延岡市内藤記念館
牧内第1遺跡（四次調査）石器	220点	県教育研修センターにおけるニーズ研修（小学校社会科）の研修資料としての利用するため。	H17.8.16 ~ H17.8.17	宮崎県教育研修センター
牧内第1遺跡（四次調査）石器	220点	県教育研修センターにおける所内研究員に対する研究員研修講座資料としての利用するため。	H17.11.29 ~ H17.11.30	宮崎県教育研修センター
土器田横穴墓 下那珂遺跡 上ノ原遺跡	土器 石器 石器 8点 15点 13点	みやざき歴史文化館における平成17年度企画展「佐土原の歴史と文化財」において展示するため。	H18.1.23 ~ H18.3.10	みやざき歴史文化館



貸出資料名	数量	目 的	期 間	貸出機関名	
内城跡 矢野原遺跡 長藪原遺跡 上ノ原遺跡 阿蘇原上遺跡 塚原遺跡 大岩田上村遺跡 北牛牧第5遺跡 古城遺跡 王子原遺跡 下那珂遺跡	石器 石器 石器 石器 石器 石器 石器 石器 石器 石器 石器	394点	企画展「攻める！きたえる！ 武器の歴史と赤羽刀の美」にて 展示するため	H18. 2.10 ～ H18. 3.30	県総合博物館
学頭遺跡 右葛ヶ迫遺跡 竹ノ内遺跡 平畑遺跡 野添遺跡 南平第3遺跡 布平遺跡 中ノ原遺跡 野首第2遺跡 尾花A遺跡 唐木戸第4遺跡	石製装身具 石製装身具 石製装身具 石製装身具 石製装身具 石製装身具 石製装身具 石製装身具 石製装身具 石製装身具 石製装身具	52点	石材の科学分析のため。	H18. 3.17 ～ H18. 3.31	国立大学法人熊本大学 埋蔵文化財調査室

#### 刊行物掲載（写真提供）

資 料 名	掲 載 刊 行 物	依 頼 者	申 請 日
山崎下ノ原第1遺跡 ・杏葉処理前写真 ・杏葉処理後写真 林遺跡 ・鉄鍋一部の処理前写真	社会法人 日本非破壊検査協会発行 機関誌 「非破壊検査」第54巻7号「特集：文化財を 遺す非破壊技術」	財団法人元興寺文化 財研究所	H17. 7.5
山崎下ノ原第1遺跡 ・出土金銅装馬具一式写真 ・馬埋葬状況想定図 ・馬具付着有機質（馬毛） 顕微鏡写真	宮崎日日新聞報道の取材資料	宮崎日日新聞	H17. 8.7

#### (8) 研修・体験学習等の受入れ

埋蔵文化財センターや発掘調査現場での見学や研修、体験学習を取り入れる学校や教育機関が増加している。平成17年度は分館見学、発掘調査現場見学・発掘体験学習、職場体験学習が実施され、児童・生徒や学生等をはじめ広く県民を受け入れた。

##### ① 見学・研修・体験学習

内 容	場 所	依 頼 者	実施日	人数
現場見学	勘大寺遺跡（二次）	新富町立上新田小学校	H17.5.17	24名
現場見学	八幡第2遺跡	都農町立都農南小学校	H17.5.20	56名
現場見学	勘大寺遺跡（二次）	新富町立上新田小学校	H17.5.25	32名
現場見学	分蔵遺跡	門川町教育委員会	H17.10.20	30名

内 容	場 所	依 頼 者	実施日	人数
発掘体験・見学	吉牟田遺跡	高原町立後川内小学校	H17.7.15	10名
現場見学	南中原第1遺跡・センター本館	高鍋町教育委員会	H17.8.11	34名
発掘体験	尾花A遺跡	夏休み特別企画「体験講座」	H17.8.27	32名
施設見学	埋蔵文化財センター分館 埋蔵文化財センター分館・本館	西都原ボランティア協議会	H17.8.27 H17.8.30	26名 26名
教職経験10年経過研修	板平遺跡	日向高等学校	H17.9.2 H17.11.29 H17.12.1	1名
教職経験10年経過研修	尾花A遺跡	県教育研修センター	H17.10.3~5	18名
施設見学	埋蔵文化財センター分館	県秘書広報課	H17.11.12	39名
施設見学	埋蔵文化財センター分館	大阪大学大学院文学研究科	H17.11.2	35名
現場見学	南中原第1遺跡	高鍋町立高鍋西小学校	H17.11.7 H17.11.8	64名 31名
職場体験学習	尾花A遺跡 埋蔵文化財センター分館	宮崎市立大宮中学校	H17.11.16~ 18	1名
施設見学	埋蔵文化財センター分館	明治カルチェ・ヴィヴァン	H18.2.17	45名

### (9) 会議・職員研修

独立行政法人奈良文化財研究所で実施している発掘技術者研修や全国国公立埋蔵文化財センター連絡協議会主催の各種会議等に職員を派遣し、職員の資質向上と業務の円滑な推進を図っている。

内 容	日 程	開 催 地	出 席 者
全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会総会	H17.5.19~5.20	香川県高松市	岩永 哲夫 甲斐 和也
県地方史研究連絡協議会総会	H17.6.9	宮崎市	久保 春夫
埋蔵文化財保護対策等九州地区協議会	H17.7.21~7.22	宮崎市	長津 宗重 菅付 和樹 橋本 英俊 松林 豊樹 堀田 孝博 松本 茂 今塩屋 毅行
全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会 中国・四国・九州ブロック会議	H17.9.8~9.9	福岡県福岡市	岩永 哲夫
全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会研修会	H17.11.24~11.25	福井県あわら市	甲斐 貴充
全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会役員会	H17.12.8~12.9	兵庫県姫路市	岩永 哲夫
文化庁埋文担当職員等講習会	H18.1.12~1.13	滋賀県大津市	藤木 聡
埋蔵文化財発掘技術者専門研修(報告書課程)	H18.1.12~1.20	奈良文化財研究所	松本 茂
埋蔵文化財保護対策等九州地区協議会	H18.2.2~2.3	鹿児島県鹿児島市	今塩屋 毅行

### (10) 職員派遣

市町村の教育委員会に埋蔵文化財の専門的・技術的な指導を行い、諸機関・団体主催講演会等の普及啓発行事にも職員を派遣している。

#### 調査指導等（派遣）

内 容	派遣期日	依 頼 者	派遣職員
6年生歴史学習講義(125名)	H17.6.14	宮崎市立大塚小学校	長津 宗重
「天然記念物緊急調査事業（地質鉱物）」会議	H17.6.21 H17.9.2 H17.11.5 H18.1.20	県文化財課	赤崎 広志
町内遺跡発掘調査に伴う高城城縄張調査指導	H17.2.7 ～8 H18.3.15 ～17	木城町教育委員会	福田 泰典
綾町小平谷第1遺跡発掘調査に伴う調査指導	H17.11.4	綾町教育委員会	谷口 武範
延岡市内遺跡発掘調査に伴う調査指導	H18.3.24	延岡市教育委員会	松林 豊樹

### (11) 労働安全衛生関係の講習等への参加

調査現場及びセンター内での安全衛生を図るため、各講習会へ担当職員の参加を実施している。

	内 容	参加期日	参加者
1	安全衛生管理研修会	H17.5.13	高山 富雄
2	普通救命講習会	H17.5.30 H17.5.31	総務課・調査第一課・調査第二課職員
3	安全衛生推進者養成講習	H17.6.2～6.3	白地 浩 島木 良浩 堀田 孝博 興梠 慶一 重留 康弘 大野 義人 丹 俊詞
4	第二種衛生管理者受験準備講習会 第二種衛生管理者試験	H17.6.15～17 H17.8.18	松林 豊樹
5	有機溶剤作業主任者技能講習会	H17.6.20～21	日高 広人
6	地山の掘削・土止め支保工作業主任者技能講習会	H17.7.20～22	福田 泰典 松元 一浩
7	伐木等の業務に係る特別教育 並びにチェンソー作業従事者特別教育	H17.7.20～21	甲斐 貴充 藤木 聡
8	労働安全衛生研修会（衛生管理者等）	H17.12.21	宮越 尊 菅付 和樹 福田 泰典

### (12) デジタルミュージアム事業

“本県の文化や歴史に関する情報を、デジタルデータベース化し、一元的なデータ整理・管理を行うとともに、インターネットにより広く地域や時間に偏り無く県民に情報を提供し、郷土の文化に誇りを持つ人材の育成に資する”ことを目的として平成14年度から県文化課、宮崎県総合博物館、県立美術館、埋蔵文化財センターが参加して実施している。平成17年度は、遺物登録台帳より熊野原遺跡や熊野原C遺跡、前原西遺跡等6遺跡、計2,670件分の遺物のデータベース登録を行った。

デジタルミュージアム <http://www.miyazaki-archive.jp/d-museum/index.html>

ホームページは、平成14年度より準備を進め、平成15年10月からデジタルミュージアム始動に合わせて稼働している。

平成17年度は、事業案内等の更新を随時行いながら、並行して内容の再検討を行った。従来の埋蔵文化財セ

ンター案内や発掘調査情報、イベント情報（事業案内）の項目のほか、もっと知りたい・聞きたい（発掘調査豆知識等）、図書情報等の項目を新たに追加し、それぞれ項目について内容の充実を図った。なお、平成18年4月より、本格的にリニューアルを開始した。

ホームページアドレス <http://www.miyazaki-archive.jp/maibun/index.html>

## V 宮崎県埋蔵文化財センター管理規則

(平成12.12.18 教育委員会規則第21号)

最終改正 平成18.3.30教育委員会規則第5号

### (趣 旨)

第1条 この規則は別に定めるもののほか、宮崎県埋蔵文化財センター及び宮崎県埋蔵文化財センター分館(以下「埋蔵文化財センター」という。)の管理運営に関し必要な事項を定めるものとする。

### (事 業)

第2条 埋蔵文化財センターは、次に掲げる事業を行う。

1. 埋蔵文化財の調査研究に関すること。
2. 出土品その他の資料の保存及び活用に関すること。
3. 埋蔵文化財の調査研究に係る図書その他の資料の整備に関すること。
4. 埋蔵文化財関係者の専門的、技術的な研修及び指導に関すること。
5. 埋蔵文化財保護思想の普及及び啓発に関すること。
6. その他埋蔵文化財保護に必要な事業に関すること。

### (組 織)

第3条 埋蔵文化財センターに次の課を置く。

総 務 課
調査第一課
調査第二課
普及資料課

### (分掌事務)

第4条 前条に規定する各課の分掌事務は、次のとおりとする。

#### 総 務 課

1. 職員の人事、給与及び服務に関すること。
2. 予算の執行及び決算に関すること。
3. 文書の收受、発送及び保存に関すること。
4. 公印の管守に関すること。
5. 施設及び設備の管理に関すること。
6. その他他の課の所管に属さない事項に関すること。

#### 調査第一課

1. 東九州自動車道建設に伴う埋蔵文化財の発掘調査に関すること。
2. 前号の発掘調査に係る出土品その他の資料の整理に関すること。
3. 第1号の発掘調査に係る発掘調査報告書の作成等に関すること。

#### 調査第二課

1. 国、県関係事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査に関すること。
2. 前号の発掘調査に係る出土品その他の資料の整理に関すること。
3. 第1号の発掘調査に係る発掘調査報告書の作成等に関すること。

#### 普及資料課

1. 出土品の保存処理、修復、保存管理及び活用に関すること。
2. 埋蔵文化財の調査研究に係る図書その他の資料の整備に関すること。
3. 出土品その他の資料及び埋蔵文化財の調査研究に係る図書その他の資料(以下「資料等」という。)の貸し出しに関すること。
4. 埋蔵文化財関係者に対する専門的、技術的な研修及び指導に関すること。

### (職及び職務)

第5条 埋蔵文化財センターに次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は同表右欄に掲げるとおりとする。

職	職 務
所 長	所務を掌理し、所属職員を指揮監督する。
副 所 長 (二人)	所長を補佐し、所長に事故があるとき、又は所長が欠けたときは、その職務を代行する。
課 長	上司の命を受けて、課に属する事務を処理する。
専門主事	上司の命を受けて、専門的知識及び経験を必要とする事務に従事する。
主任主事	上司の命を受けて、複雑な事務に従事する。
主 事	上司の命を受けて、事務に従事する。

2. 前項に規定する副所長の職務の担当区分は、1人を統括とし、他を業務担当とする。
3. 第一項の規定により副所長が所長の職務を代行する順序は次のとおりとする。  
 第一順位 統括の副所長  
 第二順位 業務担当の副所長
4. 第一項に規定する職のほか、埋蔵文化財センターに必要なに応じ、次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は同表の右欄に掲げるとおりとする。

職	職 務
副参事	上司の命を受けて、埋蔵文化財センターの特定の事務を掌理する。
主 幹	上司の命を受けて、埋蔵文化財センターの特定の事務を掌理する。
副主幹	上司の命を受けて、その相当高度の専門的業務に従事し、又は埋蔵文化財センターの特定の事務を掌理する。
主 任	上司の命を受けて、専門的業務を処理する。
主 査	上司の命を受けて、専門的業務に従事する。

(その他の職)

- 第6条 前条に規定する職のほか、埋蔵文化財センターに必要なに応じ、その他の職員の職として技術員を置く。  
 2 技術員は、上司の命を受けて、技能又は労務に従事する。

(開館時間等)

- 第7条 埋蔵文化財センターの開館時間は、午前9時から午後5時までとする。  
 2 埋蔵文化財センターの入館時間は、午前9時から午後4時30分までとする。

(休館日)

- 第8条 埋蔵文化財センターの休館日は、次のとおりとする。

区 分	休 館 日
宮崎県埋蔵文化財センター	1. 土曜日及び日曜日 2. 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。) 3. 1月1日から1月4日まで及び12月28日から12月31日まで(休日を除く。) 4. 特別整理期間(あらかじめ所長が定めて公示する期間をいう。以下同じ。)
宮崎県埋蔵文化財センター分館	1. 月曜日(休日にあたるものを除く。) 2. 休日の翌日(土曜日・日曜日又は休日に当たるときを除く) 3. 1月1日から1月4日まで及び12月28日から12月31日まで 4. 特別整理期間

- 2 所長は、必要があると認める時は、前項の規定にかかわらず、臨時に同項に定める休館日に開館し、又は同項に定める休館日以外の日に休館することができる。

(入館の制限等)

- 第9条 所長は、埋蔵文化財センターを利用しようとする者が次の各号のいずれかに該当するときは、その入館を制限し、若しくは退館を命じ、又はその利用を中止させることができる。
1. 公の秩序又は善良の風俗を乱すおそれがあると認められるとき。
  2. 施設、設備、備品等を損傷し、又は滅失するおそれがあると認められるとき。
  3. 所長が指定する場所以外において喫煙又は飲食をしたとき。
  4. 条例若しくは規則又は所長の指示に従わないとき。
  5. 前各号に掲げる場合のほか、埋蔵文化財センターの管理運営上支障があると認められるとき。

(資料等の館内利用)

- 第10条 館内において資料等を利用しようとする者は、資料等館内利用承認申請書(別記様式第1号)を所長に提出して、所長の承認を受けなければならない。

(資料等の館外貸出し)

- 第11条 次に掲げるものは、資料等の館外貸出しを受けることができる。
1. 国立の博物館、博物館法(昭和26年法律第285号)第2条第1項に規定する博物館及び同法第29条の規定により文部科学大臣又は宮崎県教育委員会が博物館に相当する施設として指定したもの
  2. 社会教育法(昭和24年法律第207号)第21条に規定する公民館
  3. 学校教育法(昭和22年法律第26号)第1条に規定する学校
  4. 国又は地方公共団体の設置する教育又は文化に関する調査研究機関
  5. 市町村立の歴史民族資料館等で宮崎県教育委員会教育長(以下「教育長」という。)が定めるもの。

6. その他教育長が適当と認めるもの
- 2 資料等の館外貸出しの期間は、30日以内とする。ただし、所長が特に必要があると認めるときは、これを延長し、又は貸出しの期間中であっても、当該資料等の返還を求めることができる。
- 3 資料等の館外貸出しを受けようとする者は、資料等館外貸出承認申請書（別記様式第2号）を所長に提出し、所長の承認を受けなければならない。
- 4 所長は、出土品その他の資料について前項の承認をしようとするときは、次の事項を確認しなければならない。
  1. 貸出しを受ける目的が当該出土品その他の資料の保存及び活用にとって適切であること。
  2. 当該出土品その他の資料の保管、展示等を適切に行うための施設及び設備が整備されていること。
  3. 貸出しの期間中当該出土品その他の資料が適切な知識、技能を持つ者に取り扱われること。

（弁 償）

第12条 入館者、館内利用者又は資料等の館外貸出しを受けた者は、資料等、設備又は備品を亡失し、破損し、又は汚損したときは、所長の指示に従い、その修理又は損害の賠償をしなければならない。

（委 任）

第13条 この規則に定めるもののほか、埋蔵文化財センターの管理運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則（抄）

（施行期日）

1. この規則は、平成18年4月1日から施行する。

別記

様式第1号（第10条関係）

資料等館内利用承認申請書

年 月 日

宮崎県埋蔵文化財センター所長 殿

住 所  
申請者 氏 名  
電話番号

（法人にあつては主たる事務所の所在地、  
名称及び電話番号並びに代表者の氏名）

資料等の館内利用をしたいので、宮崎県埋蔵文化財センター管理規則第10条の規定により、次のとおり申請します。

館内利用の目的			
資料等の名称	形 状	数 量	備 考



## 資料等館外貸出承認申請書

年 月 日

宮崎県埋蔵文化財センター所長 殿

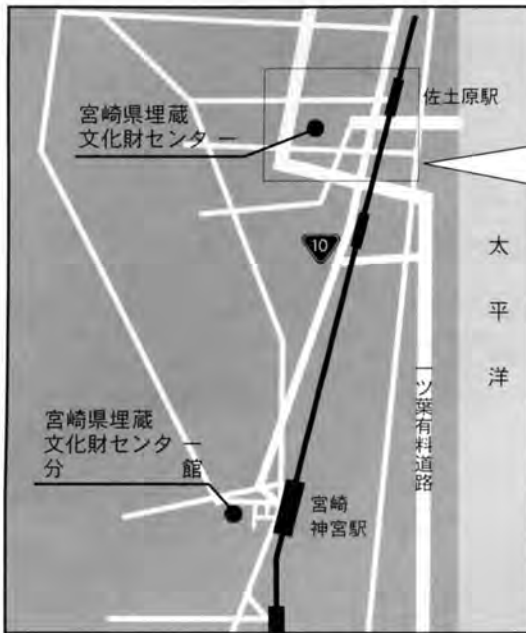
住 所  
申請者 氏 名  
電話番号

（法人にあつては主たる事務所の所在地、  
名称及び電話番号並びに代表者の氏名）

資料等の館外貸出を受けたいので、宮崎県埋蔵文化財センター管理規則第11条第3項の規定により、次のとおり申請します。

館外貸出の目的			
資料等の名称	形 状	数 量	備 考
館外貸出期間	年 月 日から 年 月 日まで		

# (案内図)



## 宮崎県埋蔵文化財センター

〒880-0212 宮崎市佐土原町下那珂4019番地  
 Tel.0985-36-1171・36-1172 Fax.0985-72-0660  
 E-mail maizobunkazai-c@pref.miyazaki.lg.jp  
 URL <http://www.miyazaki-archive.jp/maibun/index.html>  
 ◎佐土原駅(JR)車10分 ◎御殿下バス停徒歩8分

## 宮崎県埋蔵文化財センター分館

宮崎市神宮2丁目4-4 (〒880-0053)  
 TEL 0985-21-1600  
 FAX 0985-26-2634

### ●観覧時間

午前9時～午後5時 (入館は午後4時30分まで)

### ●休館日

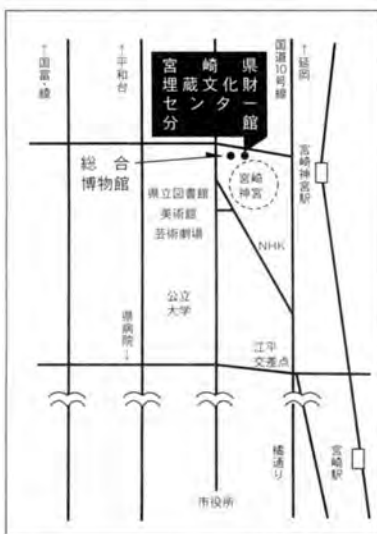
年末年始 (12月28日～1月4日)

### ●入館料 無料

### ●宮崎神宮駅 (JR)ー徒歩10分

### ●宮崎神宮行きバスー神宮終点下車徒歩10分

### ●綾・国富・平和が丘行きバスー「博物館前」下車徒歩2分



宮崎県埋蔵文化財センター年報10号  
平成18年度（2006）

編集・発行：宮崎県埋蔵文化財センター  
〒880-0212  
宮崎市佐土原町下那珂4019  
発行月：平成18年7月  
印刷：有限会社 宮崎新生社印刷  
宮崎市新名爪中牟田766

## 宮崎県埋蔵文化財センター

---

〒880-0212 宮崎市佐土原町下那珂4019番地  
Tel.0985-36-1171・36-1172 Fax.0985-72-0660

◎佐土原駅(JR)車10分 ◎御殿下バス停徒歩8分